

令和8年度 学校評価報告書 (目標設定・実施結果)

視点	4年間の目標 (令和6年度策定)	1年間の 目標	取組の内容		校内評価		学校関係者評価 (3月1日実施)	総合評価 (3月23日実施)	
			具体的な方策	評価の観点	達成状況	課題・改善方策等		成果と課題	改善方策等
1 教育課程 学習指導	○「個別最適な学び」「協働的な学び」の一体的な充実を実現する授業実践と、授業改善を行う。 ○児童・生徒一人ひとりのニーズにあわせた教育を行う。 ○カリキュラムマネジメントの視点を踏まえ、教育課程の編成に取組む。	①「個別最適な学び」「協働的な学び」につながる授業づくりを推進する。 ②児童・生徒一人ひとりのニーズにあわせ、ICT機器を授業で活用し、授業内容を充実させる。	①ポジティブ行動支援に基づく適切な実態把握により、児童・生徒への肯定的な見方を広げ、授業改善を行う。 ②ICT機器の研修等の充実と児童生徒のニーズに合わせた活用を進め効果的な指導に結びつける。	①児童・生徒の行動に対するポジティブな見方や関わりを行い、授業改善を行うことができたか。 ②児童・生徒一人ひとりのニーズとICT機器の活用状況を把握して授業改善し、効果的な指導に繋げることができたか。					
2 (幼児・児童・) 生徒指導・支援	○児童・生徒に対し、きめ細やかな指導・支援の充実を図る。  ○教育活動全体で人権の視点に立った学校づくりに取組む。	①児童・生徒を尊重し、一人ひとりが自分らしく成長できる教育を実践する。 ②教職員一人ひとりの人権感覚を高める取組を進める。	①児童・生徒が自らの特性や長所を理解できるよう指導・支援する。 ②各自が自らの行動を振り返ることのできるシートの活用をさらに進める。	①児童・生徒が自分を知り、自分のよさに気づくことができるよう、指導・支援できたか。 ②教職員が、人権意識に根差した考え方・ふるまいを理解し、自らの行動に反映できたか。					
3 進路指導・支援	○本人のニーズや適性に応じた、自己選択・自己決定のための継続した指導・支援に取組む。  ○児童・生徒の自立と社会参加に向けた主体的な取組を支援する。	①専門職、地域等と連携し児童・生徒一人ひとりのキャリア発達を支援する。 ②児童・生徒が主体的、積極的に取り組む力を育てる。	①自立と社会参加を目指し、小中高と系統立てた取組を行っていく。 ②学校生活全般を通して、児童・生徒が自分で考え行動する場面を意図的に用意する。	①小中高と系統立て、自立と社会参加を目指した取組を進めることができたか。 ②児童・生徒が自分で考え行動する場面を、日々用意することができたか。					
4 地域等との協働	○学校と地域の双方で連携・協働するための組織的・継続的な仕組みを構築する。 ○地域における特別支援教育のセンター的機能としての取組を推進し、共生社会の実現に向け取り組む。	①地域の特性を活かし、学校と地域とで協働する取組を重ねる。 ②地域のニーズを的確に把握し、地域とともに支援教育力を高める。	①地域と連携した授業を年間計画に組み込み、目標を共有した上でともに授業を作る。 ②互いの特性を活かせる効果的なセンター的機能のあり方を検討する。	①地域とともに授業を作り、計画的に実施できたか。 ②互いの特性を活かしたセンター的機能の仕組みづくりや人材育成ができたか。					
5 学校管理 学校運営	○地域と一体となった安全で安心な学校づくりに取り組む。  ○子どもたちと向き合う時間を確保し、教育の質を向上させるために、働き方改革を推進する。	①地域との繋がりを強化し、防災活動等を通して共生社会の推進に貢献する。 ②同僚性を高め、働きやすく、働きがいのある職場環境をつくる。	①地域からの意見を強化し、校内安全体制と防災体制の見直しを行う。 ②-1 グループワークを取り入れた全職員対象の研修を実施する。 ②-2 業務のスリム化に引き続き取り組む。	①より安全安心な校内安全体制と防災体制を整えることができたか。 ②・教職員が学部部門を越えて関わる機会を設定できたか。 ・総労働時間を短縮できたか。					